

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                               |           |    |
|----------------|-------------------------------|-----------|----|
| ○事業所名          | リエゾン東陽町                       |           |    |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 10月 16日 ～ 2025年 10月 31日 |           |    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                        | 59 (回答者数) | 14 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 10月 16日 ～ 2025年 10月 31日 |           |    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                        | 4 (回答者数)  | 4  |
| ○訪問先施設評価実施期間   | 年 月 日 ～ 年 月 日                 |           |    |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象数)                         | (回答数)     |    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 12月 16日                 |           |    |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 楽しく運動出来るように<br>様々なメニューを提供していること            | スタッフ間でお子様の進捗や様子や、<br>保護者様とのフィードバックの会話で<br>得られた新たなご要望等を共有していき<br>さらなる成長を促していけるように<br>メニューの考案を日々おこなっている。                             | スタッフ全員がお子様のことを理解し、<br>保護者様とコミュニケーションを取る時間を<br>少しでも増やすことを意識し<br>満足度の向上を目指していく。 |
| 2 | 綺麗で過ごしやすい教室の環境づくり                          | 毎週1度クリンリネスを実施し<br>入念に清掃する時間を設けている。<br>また教室全体として掲示物や装飾を必要最低限にし、清<br>潔感を出すようにしている。<br>レッスンのコマの合間等も常に環境整備を意識し、<br>過ごしやすい環境作りをおこなっている。 | 現在まで意識して取り組んでいることを今後とも引き続け<br>て取り組み、新規の方にも良い印象を持って頂けるように<br>環境整備をおこなっていく。     |
| 3 | 季節のイベントをとりいれて<br>お子様にも保護者様にも楽しんでいただくこと     | 「母の日」や「父の日」等<br>保護者様にも喜んで頂けるようなイベントも取り入れなが<br>ら、ハロウィンやクリスマス等のお子様为主体となれるイベ<br>ントも取り入れて1年を通して楽しく通所して頂けるように<br>心掛けています。               | 保護者様やお子様がお子様他の方にも当事業所を紹介したくな<br>るような要素の一つとして、引き続き楽しいイベントを考え<br>ながら取り組んでいきたい。  |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                                       | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 運動面やお友達とのコミュニケーション以外の<br>文字を書くことや計算等の学習面での<br>支援が十分に行えないこと。                      | 運動療育がメインとなる為<br>運動面以外でのご要望があった場合<br>レッスン時間内で十分に支援できない可能性が高い  | サーキット内でしりとり等を行い、簡単に文字の読み書き<br>を取り入れることや<br>得点系のゲームでは点数を視覚化しながら簡単な計算<br>ができる時間等を設けていく。   |
| 2 | 教室の広さや天井の高さが限られている為<br>モニタリングルームのご利用方法や<br>ボールの軌道等で全ての方に<br>満足頂けないケースが出てきてしまうこと。 | お子様のご両親と一緒に、御兄弟や祖父母様が<br>ご見学して下さる際の<br>椅子の個数が不足してしまうことや<br>ドリンクの位置の関係で遠慮される場合がある。<br>また天井にボールが当たって跳ね返ること<br>でお子様の本来の実力が図れなくなってしまう。 | 椅子の配置を調整しながら皆様が満足に<br>モニタリングルームをご利用頂けるように<br>お声掛けさせて頂くことや、<br>お子様には教室の範囲内で満足できるよう<br>力加減の設定や投げ方を交渉すること等<br>スタッフが意識して行動出来るようにしていく。 |
| 3 |  |  |   |